

『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／えとぶん
こぐま社(E-ニマ)

空からふわりと降ってきた白い布でうさぎが作ったワンピース。さっそくそれを着て「ラランロロン」と鼻歌を歌いながら歩いていくと、白いワンピースはお花畑ではお花模様、雨が降ってくると雨の模様になりました。

ワンピースの模様が次々に変わっていく様子が見どころです。



『わにわにのおふろ』

小風 さち／ぶん
山口 マオ／え
福音館書店
(E-YAG)

わにわにはおふろが大好き！湯ぶねにあひるのおもちやを浮かべたり、バケツをかぶってシャワーのマイクで歌を歌ったり。泡ぶくぶくで体を洗った後は、おふろにしっかりつかってタオルで拭きます。

この他にも、わにわにが料理をしたり、お祭りに行ったりする絵本が4冊出ています。

その他おすすめの本

『とんとんとめてくださいな』

こいで たん／ぶん こいで やすこ／え
福音館書店(E-コイデ)

『きょだいなきょだいな』

長谷川 摂子／作 降矢 なな／絵
福音館書店(E-フリヤ)

『ももたろう』

長谷川 摂子／文 はた こうしろう／絵
岩波書店(E-ハタコ)

『パンやのくまさん』

フィービ・ウォージントン／さく・え
セルビ・ウォージントン／さく・え
まさき るりこ／やく 福音館書店(E-ウオジ)

『もりのなか』

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え
まさき るりこ／やく 福音館書店(E-エッツ)

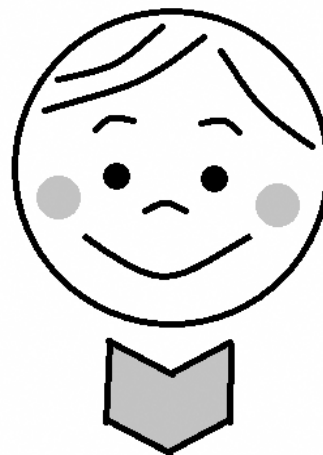
『てぶくろーウクライナ民話』

エフゲーニ・ラチョフ／え うちだ りさこ／やく
福音館書店(E-ラチコ)

あかちゃん

えほん③

【おはなし】



はじめに

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となります。

このリストでは、物語を楽しめるようになった赤ちゃんにおすすめの「おはなし」の絵本を紹介しています。赤ちゃんと一緒に「おはなし」の世界を存分に楽しんでください。



『ぼくのくれよん』

長 新太／おはなし・え
講談社(E-チヨウ)

ごろんと転がった大きなくれよん。これは、ぞうのくれよんです。

ぞうが描いた大きい絵を、本物だと思った動物たちは…。

ぞうは、もっとたくさんの絵を描きたいようです。次はどんな絵になるのでしょうか？



『ぞうくんのさんぽ』

なかの ひろたか／さく・え
なかの まさたか／レタリング
福音館書店(E-ナカ)

今日はいい天気。ぞうくんは散歩にでかけます。途中で出会ったかばくん、わにくん、かめくんを次々に背中に乗せてみんなで一緒にお散歩です。ところがぞうくん、足取りがちよっと危なげです…。

ゆっくりほのぼのとした会話と、その後の急展開に注目です！

令和6年4月
編集発行：福島市立図書館(Tel. 531-6551)

【福島市立図書館】

○開館時間

午前9時30分～午後7時
(日曜日・祝日は午後5時30分まで)

○休館日：火曜日、館内整理日

○おひぎにだっこのおはなし会

毎月第3木曜日 午前10時30分～

○あかちゃんタイム

毎月第3木曜日 午前9時30分～12時

【福島市子どもライブラリー】

○開館時間

毎日：午前9時30分～午後7時

○休館日：火曜日

○おひぎにだっこのおはなし会

毎月第1木曜日・第3日曜日

午前11時～

学習センター図書室については、
各館にお問い合わせください。



『いつすんぼうし』

いしい ももこ／ぶん
あきの ふく／え
福音館書店(E-7キノ)

むかし、あるところに、親指ほどの大ききのあかんぼうがうまれ、いつすんぼうしとなづけられました。

やがて、いつすんぼうしはおわんをかさに、はしをつえに、はりをかたなにしてみやこをめぎす旅に出たのでした。

美しい日本語と絵で楽しめる昔話です。



『おおきなかぶ』

A.トルストイ／再話
内田 莉莎子／訳
佐藤 忠良／画
福音館書店(E-サウ)

おおきなかぶができました。あまりにおおきいので、おじいさん1人では抜けません。そこで、おばあさん・まご娘・いぬ・ねこ・ねずみが手伝いにやってきます。

かぶをひっぱる時の「うんとこしょどっこいしょ」というかけ声を、子どもと一緒に口ずさみながら読むのも楽しいです。



『はらぺこあおむし』

エリック・カール／さく
もり ひさし／やく
偕成社(E-加エ)

日曜日に生まれたあおむしくんは、おなかがぺっこぺこ。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日にはなしをふたつ、水曜日には…。次々と食べ続けますがまだまだぺっこぺこ。一週間経つとようやくおなかも満たされて、大きなふとちよあおむしになりました！

数や曜日の認識が織り込まれた、穴あきしかけ絵本です。



『ロージーのおさんぽ』

パット・ハッチンス／さく
わたなべ しげお／やく
偕成社(E-ハツ)

めんどりのロージーが、おさんぽにでかけました。池の周りや塀のすきま、蜂の巣箱の下を、すたすた、すいすい歩いていきます。

あれあれ？そんなロージーの後ろを、誰かがついてくるみたい。一体どうなるのかな？



『だんごころころ』

松谷 みよ子／ぶん
和歌山静子／え
童心社(E-7カヤ)

むかしむかし、ばあさまがだんごを作っていたら、だんごがひとつ、ころころと土間のすみっこの穴に落ちてしまいました。

だんご だんご どこへいく？だんごを追いかけて、ばあさまも穴に飛び込みました。落ちた先にいたのは…。



『三びきのやぎのがらがらどん』

マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店(E-ブラウ)

草を食べに山へ出かけた、3びきのやぎのがらがらどん。しかし、山へ行くためには、大きなかいぶつトロルが住む橋を渡らなければなりません。小さいがらがらどんから1びきずつ渡ることになりましたが…。

3びきは、無事に山にたどりつけるのでしょうか。



『はなをくんくん』

ルース・クラウス／ぶん
マーク・シーモント／え
きじま はじめ／やく
福音館書店(E-サ任)

雪が降り積もる冬の間、のねずみも、くまも、かたつむりもみんな眠っています。ある時、目を覚ましたみんなは、はなをくんくん。何かのにおいに気がついて、駆けだしていきます。そして、たどり着いたところには…？



『ちびゴリラのちびちび』

ルース・ボーンスタイン／さく
いわた みみ／やく
ほるぶ出版(E-ボッス)

小さいちびゴリラのちびちびのことが、お父さんもお母さんも森の動物たちもみんな大好き。それはちびちびが大きくなっても変わりません。

ちびちびを周りの大人たちが可愛がり見守っている、心温まるお話です。読んでいる子どもも安心感を得られる本です。